

研究者：酒井 芙貴（所属：東京歯科大学 国際医療研究会）

**研究題目：東京歯科大学 国際医療研究会 第14次海外（ミャンマー）
スタディ・ツアー**

目 的：

本事業の目的は、日本の次世代の歯科保健・医療を担う歯科学生が海外へ行き、現地の歯科大学・歯学部や歯科診療所、歯科技工所を実際に訪問し、見学を行うことにより、学生の国際交流活動や海外の歯科事情、さらに自国の歯科事情への関心を高め、自国と他国の歯科状況を比較し、その違いの理解を深めることを事業の目的とした。

対象および方法：

事業概要：

日本の歯科大学・歯学部の学生が、ミャンマーのヤンゴン大学とマンダレー大学の歯学部を訪問し、現地の先生や職員の方に話を伺い、関連機関や施設の見学を行うことにより、日本とミャンマーの歯科医療の違いについて理解を深める。

参加者：

氏名（学年／職名）	団体名称／所属	事業での役割
<学生> 石 彩記子（4年生） 倉澤 馨（3年生） 酒井 芙貴（3年生） 浅野 一磨（1年生） 柳田 陵介（1年生） 尤 雅田（2年生）	東京歯科大学 国際医療研究会 東京歯科大学 国際医療研究会 東京歯科大学 国際医療研究会 東京歯科大学 国際医療研究会 東京歯科大学 国際医療研究会 明海大学	会計 事業実施責任者
<教員> 眞木 吉信（教 授） 阿部 智 国内待機	東京歯科大学社会歯科学研究室 東京歯科大学国際医療研究会部長 東京歯科大学国際医療研究会 OB	事業総責任者 引率教員
<学生> 太田 慧（2年生） 松浦 信孝（2年生） 吉野 輝（1年生）	東京歯科大学 国際医療研究会 東京歯科大学 国際医療研究会 東京歯科大学 国際医療研究会	

期 間：2014年3月27日（木）－4月2日（水）

訪問国：ミャンマー連邦共和国（ヤンゴン・マンダレー）

訪問先：ヤンゴン大学歯学部（ヤンゴン）

マンダレー大学歯学部（マンダレー）

主 催：東京歯科大学国際医療研究会

支 援：公益財団法人 富徳会

公益財団法人 ライオン歯科衛生研究所

結果および考察：

＜大学訪問およびキャンパス・大学病院見学＞

3月28日（金）にヤンゴン大学歯学部，3月31日（月）にマンダレー大学歯学部を訪問し，キャンパスおよび大学病院を見学した。

ヤンゴン大学およびマンダレー大学では，両大学の歯学部長である Thein Kyu 教授と Shwe Toe 教授よりミャンマーの教育制度，大学での歯科教育および歯科医療の現状についてレクチャーしていただき，学生は積極的に質問した。ヤンゴン大学は1964年に創設された大学であり，年間約160人が卒業する。マンダレー大学は，1999年に創設された新設の大学であり年間約140人が卒業する。ミャンマーにはマンダレー大学とヤンゴン大学の2大学しか歯学部がないため，年間の新卒は合計約300人しかおらず，ミャンマーの人口に比べて歯科医師不足が深刻だという。

また，大学教員としての収入が低いこともあり，教員のほとんどがプライベートクリニックを経営し，大学の業務が終わってから，プライベートクリニックでも診療するという生活を送っているという。1人の歯科医師が1日に診る患者数は約30人だそうだ。見学させていただいた時も沢山の患者が来ていた。

日本の教育制度との大きな違いは，

1. 国の政策により学生の男女比が男子8割，女子2割と決められていること。
2. 大学入学は16歳からであり，大学の第1学年から第5学年までに歯科基礎教育を受け，第6学年は研修医として病院で研修を行う。第6学年終了後には歯科医師の資格が取得できる。

また，歯科医療および口腔保健の分野においては，

3. ミャンマーには歯科衛生士という資格がなく，日本では歯科衛生士が行う業務のすべてを複数またはひとりの歯科医師が行う。歯科技工士学校はヤンゴン大学歯学部併設されている。
4. 日本でいう歯科疾患実態調査のようなものは行われておらず，歯科疾患の調査は毎年ミャンマーの地方を中心に，第4学年が授業の一環として調査している。しかし，そのデータは整理されておらず，ミャンマーにおける口腔保健等の政策に反映されていない。

＜ヤンゴン大学・マンダレー大学学生交流＞

大学訪問時は夏休みのため学生はほとんどいなかったが，私たちの訪問に合わせて学生交流のプログラムを組んでいただくことができた。3月28日（金）ヤンゴン大学歯学部学生および3月31日（月）マンダレー大学歯学部学生と交流会を行った。学校生活のことや部活動のことなどいろいろな話をすることができた。この学生交流によって，両国の歯科医療や，その違いを身近に学び，深く考えることができた。この経験を踏まえて，歯科学学生の国際交流を益々発展させるとともに，将来的に歯科医師として，海外の医療保健システムや歯科医療技術や学校での取り組みに関する情報を学ぶ姿勢を身につけたいと考えている。



ヤンゴン大学にてディスカッション



ヤンゴン大学病院見学



ヤンゴン大学歯学部生と交流会



マンダレー大学にてディスカッション



眞木先生によるフッ化物応用の講演



ビートロナッツを販売している露天商

成果発表の予定：

2014 年 5 月	報告書	ミャンマー歯科学学生交流事業報告書発行
7 月	ポスター発表	歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）にて
10 月	展示・発表	東歯祭（東京歯科大学文化祭）にて